

| | |
|----------------------------------|--|
| 研究課題名 | 消化器癌組織アレイ作成に基づく、消化器癌における蛋白発現や予後の解析 |
| 研究の意義・目的 | 消化器癌の病態を特異的な蛋白発現の観点から解析し、腫瘍との関連性を分析して、今後の診療に役立てることを目的としています。腫瘍の診断技術や治療成績向上をもたらす可能性があります。 |
| 研究を行う期間 | 研究機関の長の研究実施許可 ～ 2032年3月 |
| 研究協力をお願いしたい方(対象者) | 2000年1月～2022年3月に大阪公立大学医学部附属病院の消化器外科で、消化器癌と確定診断され、診断治療のために摘出手術を受けられた方のうち、先行研究にて同意を得られている方(先行研究：承認番号924)が対象となります。 |
| 協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目 | <p>最近の医学の進歩に伴い、消化器癌の性質もすこしずつ明らかになってまいりました。私たちも腫瘍の性質を解明し新しい治療を開発すべく研究に取り組んでいます。そのため、以前の手術で採取いたしました腫瘍組織を新しい手法で解析することを考えています。以前手術を受けていただいた際に、皆様のご同意の下で患者さんの一部の腫瘍組織を当科で保存しておりますが、今回蛋白発現解析を含む本研究に使用させて頂ければと思います。</p> <p>下記の診療情報は十分な匿名性を持って研究に当たります。</p> <p>試料：手術を受けられた方の消化器癌標本組織 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、予後、検査データ、CT画像、病理診断】</p> |
| 試料・情報の他機関への提供 | この研究は大阪公立大学大学院医学研究科 癌分子病態制御学のみで行い、他の機関に試料情報は提供いたしません。 |
| この研究を行っている共同研究機関 | この研究は大阪公立大学大学院医学研究科 癌分子病態制御学のみで行います。 |
| 試料・情報を管理する責任者 | 大阪公立大学大学院医学研究科 癌分子病態制御学 研究責任者 八代 正和 |
| 本研究の利益相反 | 利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。 |
| 研究に協力をしたくない場合 | 下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。 |
| 連絡先 | 大阪公立大学大学院医学研究科 癌分子病態制御学 (担当者氏名) 佐久間 崇 電話番号：(06) 6645-3835 メールアドレス：so22500y@st.omu.ac.jp |